

太陽光、太陽熱を利用しよう

今、友だちの家の屋根は、工事しているんだよ

太陽光で電気をつくることもできるよ

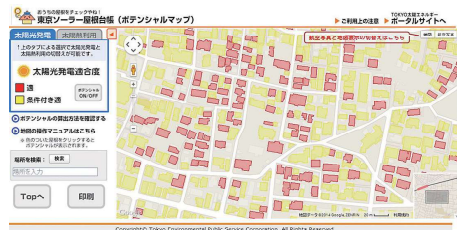
太陽で水を温める太陽熱利用システムにするのかしら

太陽エネルギーはクリーンなエネルギーなんだ
電気が熱を作ってもCO₂が発生しないんだよ
それに太陽エネルギーはいくら使っても減らないしね

つくった電気は電力会社に売ることができるんですよ！

東京ソーラー屋根台帳 令和2年3月にデータ更新！

「東京ソーラー屋根台帳(ポテンシャルマップ)」を使うと、都内にあるそれぞれの建物がどのくらい太陽光発電システムや太陽熱利用システムに適しているのかが一目で分かります。操作も簡単で、住所検索にも対応しています。ご自宅の屋根を確認してみてください！

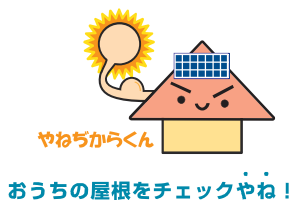


- 東京ソーラー屋根台帳(ポテンシャルマップ)
<http://tokyosolar.netmap.jp/map/>
- 東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)普及連携チーム
TEL:03-5990-5065 受付時間 月～金 9:00～12:00、13:00～17:00(祝日・年末年始除く)

太陽光発電システム

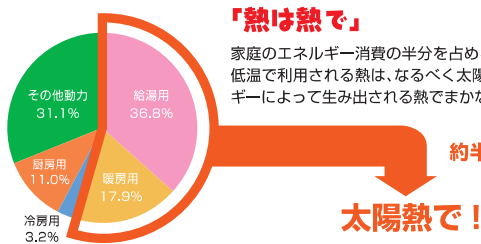
太陽の光から電気を作り出すシステムです。システム1kW当たりの年間発電量は約1,000kWhという試算があります*。家庭で使用する電力の一部をまかなえるほか、使いきれなかった電力(余剰電力)は電力会社に売ることができます。蓄電池にためて使えば電力の自給自足を目指せます。

*一般社団法人 太陽光発電協会(JPEA)ホームページより。
太陽電池を水平に対して30度傾け真南に向けて設置した場合の計算例



太陽熱利用システム

太陽の熱エネルギーを利用して給湯や暖房等を行うシステムです。エネルギーを熱に交換する効率が高く、4~6m²のパネルでもガスや電気の使用量の削減につなげることができるため、屋根面積の狭い家でも利用が可能です。



「熱は熱で」

家庭のエネルギー消費の半分を占める「給湯や暖房など比較的低温で利用される熱は、なるべく太陽熱などの再生可能エネルギーによって生み出される熱でまかなおう」という考え方で。

約半分为低温の熱利用

太陽熱で！



東京都の補助金のお知らせ

東京ゼロエミ住宅導入促進事業

対象者	● 新築戸建住宅の建築主 ● 新築集合住宅の建築主 (延床面積2,000平方メートル未満)
令和3年度助成額	● 新築戸建住宅 50万円/戸 ● 新築集合住宅 20万円/戸 ※太陽光発電設備を設置した場合は10万円/kW(上限100万円)を追加
主な助成条件	● 東京ゼロエミ住宅の仕様を満たすこと
申請受付期間	● 2019年度から2021年度まで受付予定
ホームページ	https://www.tokyo-co2down.jp/individual/subsidy/tokyo_zero_emission_house/index.html



自家消費プラン(蓄電池システムへの補助金)

対象者	● 蓄電池システムの所有者 ● 蓄電池システムの所有者と共同で申請するリース事業者
令和3年度補助率	● 機器費の1/2(上限額7万円/kWh、42万円/戸まで) ※助成対象機器の市場価格等に応じ、年度ごとに見直す予定
主な助成条件	● 都内の住宅に新規設置(未使用)であること ● 太陽光発電システムを設置していること ● 家庭の太陽光発電等の電力データ、再エネ電力の自家消費に伴う環境価値等が提供可能であること 等
申請受付期間	● 2020年度から2022年度まで受付予定
ホームページ	https://www.tokyo-co2down.jp/individual/subsidy/jikashohi_plan/index.html



家庭における熱の有効利用促進事業(窓・ドア等への断熱改修等への補助金)

対象者	● 戸建・集合住宅の所有者又は管理組合等 ● 上記と共同で申請するリース事業者																				
補助対象	● 高断熱窓、高断熱ドア、太陽熱利用機器、地中熱利用機器の導入に要する材料費、機器費、工事費																				
補助率・主な補助要件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成対象</th> <th>補助率</th> <th>上限額</th> <th>主な要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高断熱窓</td> <td>1/6</td> <td>50万円/戸</td> <td>●1つ以上の居室で全ての窓に高断熱窓を設置すること(対象製品要件あり)</td> </tr> <tr> <td>高断熱ドア</td> <td>1/6</td> <td>8万円/戸</td> <td>●高断熱窓の補助と併せて実施すること(断熱性能要件あり)</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用機器</td> <td>1/2</td> <td>45万円/戸</td> <td>●自然循環型(太陽熱温水器)ではないこと 等</td> </tr> <tr> <td>地中熱利用機器</td> <td>1/2</td> <td>150万円/台</td> <td>●クローズドループ型であること ●暖房時の定格COPが3.7以上であること 等</td> </tr> </tbody> </table>	助成対象	補助率	上限額	主な要件	高断熱窓	1/6	50万円/戸	●1つ以上の居室で全ての窓に高断熱窓を設置すること(対象製品要件あり)	高断熱ドア	1/6	8万円/戸	●高断熱窓の補助と併せて実施すること(断熱性能要件あり)	太陽熱利用機器	1/2	45万円/戸	●自然循環型(太陽熱温水器)ではないこと 等	地中熱利用機器	1/2	150万円/台	●クローズドループ型であること ●暖房時の定格COPが3.7以上であること 等
助成対象	補助率	上限額	主な要件																		
高断熱窓	1/6	50万円/戸	●1つ以上の居室で全ての窓に高断熱窓を設置すること(対象製品要件あり)																		
高断熱ドア	1/6	8万円/戸	●高断熱窓の補助と併せて実施すること(断熱性能要件あり)																		
太陽熱利用機器	1/2	45万円/戸	●自然循環型(太陽熱温水器)ではないこと 等																		
地中熱利用機器	1/2	150万円/台	●クローズドループ型であること ●暖房時の定格COPが3.7以上であること 等																		
申請受付期間	● 2020年度から2021年度まで受付予定																				
ホームページ	<p>高断熱窓・ドア： https://www.tokyo-co2down.jp/individual/subsidy/window_door/index.html</p> <p>熱利用機器： https://www.tokyo-co2down.jp/individual/subsidy/heatutilization_machine/index.html</p>																				



■各事業の詳細については、こちらまでお問い合わせください。東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)

- 東京ゼロエミ住宅導入促進事業：03-5990-5066
 - 自家消費プラン：03-6279-4615
 - 家庭における熱の有効利用促進事業(高断熱窓・ドア)：03-5990-5066
 - 家庭における熱の有効利用促進事業(熱利用機器)：03-5990-5086
- 受付時間
月～金 9:00～12:00、13:00～17:00
(祝日・年末年始除く)